

2024年3月21日

大学都市神戸 産官学プラットフォーム
2024年度 計画

①背景・目的

神戸市には多彩な高等教育と研究を実践し、歴史と伝統ある大学が数多く立地し、約7万人の大学生が学ぶ、全国屈指の大学都市であり、豊富で個性豊かな教育資源に加え、大学を通じて多くの若者が集まっていることが地域活性化の原動力となっており、優位性でもある。

他方で、文部科学省の中央教育審議会大学分科会の推計では、18歳人口の減少により、2040年には大学入学者数は約11万人約2割が消失するとされている。市内大学が、進学率の低下と他府県への流出超過、さらには大学卒業時の地元就職率の低さなど、厳しい経営環境となるなか、大学都市神戸として、市内大学の機能を強化し、大学入学者の市外からの流入確保・増加と卒業時の地元定着率を上げていくことが、若年人口の増加、市内企業やスタートアップの人材確保にもつながっていくものと考えている。

こうした状況へ対応していくため、産官学共創による課題解決に向けた連携協力体制の強化に向けて、市内の大学等、産業界、神戸市が参画し、一般社団法人「大学都市神戸産官学プラットフォーム」を2023年11月10日に設立し、「神戸の将来を支える人材の獲得」「神戸の未来を牽引する人材育成・定着」「神戸経済への直接的な貢献」の3つの取組みの視点をもとに、産官学連携による共創強化を通じたさまざまなプロジェクトを展開することとした。本プラットフォームは文科省の提唱する「地域連携プラットフォーム」を神戸市地域において具現化するものである。

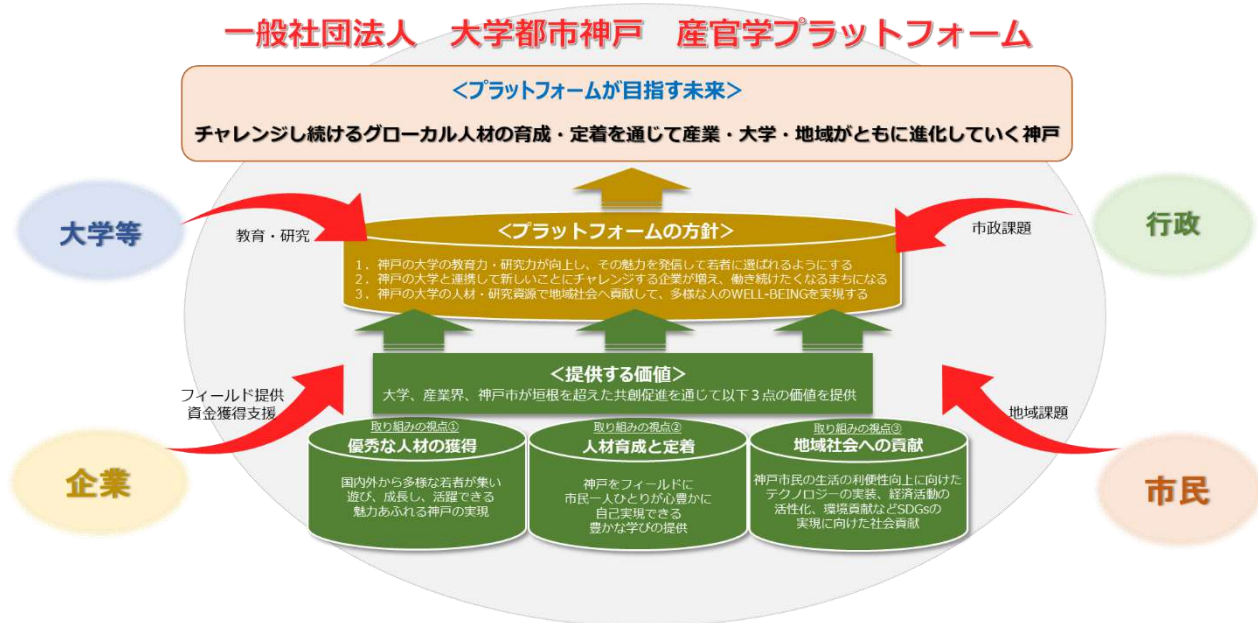
あわせて、共創の取り組みの実践・発信の場、また学生や大学研究者、関係者の交流の場として、交通利便性が高い三宮・センタープラザ9階に産官学連携交流拠点「KOBE Co CREATION CENTER」を開設する。

②構成組織

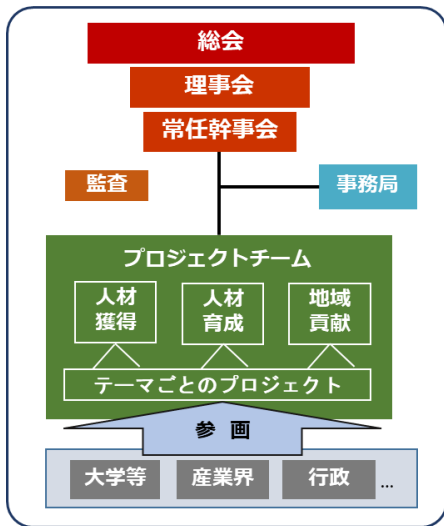
[会員 ※2024年3月21日時点]

大学・高専等高等教育機関 を設置する法人会員	神戸大学、神戸学院大学、甲南大学、兵庫県立大学、神戸市外国語大学・神戸市立工業高等専門学校、神戸松蔭女子学院大学、神戸常盤大学、神戸国際大学、関西国際大学、神戸市看護大学
企業会員	西日本電信電話(株)、(株)学生情報センター、(株)神戸新聞事業社、アスタップ(株)、(株)ラジオ関西、I & H(株) (阪神調剤グループ)、剣菱酒造(株)、双日(株)、住友生命保険(相)、(株)神戸デジタル・ラボ
特別会員	損害保険ジャパン(株)、(福)報恩会、(株)G-7ホールディングス
エントリー会員	(株)三井住友銀行、(株)三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行(株)三井住友信託銀行(株)、(株)神戸新聞社、神戸中央青果(株)、(株)みなと銀行、兵庫六甲農業協同組合、金井重要工業(株)、大和リース(株)、(株)ナガサワ文具センター、(株)W、(株)日本政策金融公庫神戸創業支援センター、兵庫トヨタ自動車(株)、(株)合食、中村住建
団体会員	兵庫県中小企業家同友会、公益社団法人兵庫工業会
行政会員	神戸市

【全体像】




【組織図】



	役割 (Role)	構成・開催頻度 (Composition & Frequency)
総会・理事会	(総会) •プラットフォームの全体戦略や事業計画を決定する組織体の意思決定機関	(総会) •社員(団体の長)が出席 •年1回開催+必要に応じて開催
	(理事会) •プラットフォームの全体戦略や事業計画の方向性を協議 •プロジェクトの認可	(理事会) •経済界から代表理事を選出 •参画大学学長が出席 •定期開催(年2回)+必要に応じて開催
事務局	•プラットフォームの組織運営 •産官学連携交流拠点の運営 •プロジェクト全体や、参画団体間の各種調整 •新規プロジェクトの初動支援 •一部プロジェクトの認可	
プロジェクトチーム	•参画大学・企業等からの提案に対して意見を出し合いながら、産官学連携プロジェクトを検討・実施(プロジェクト例) リカレント教育事業、国の補助金事業 等	<ul style="list-style-type: none"> •プロジェクト参加大学、企業、行政 •チーム会議の開催方法や頻度はプロジェクトメンバーにより決定

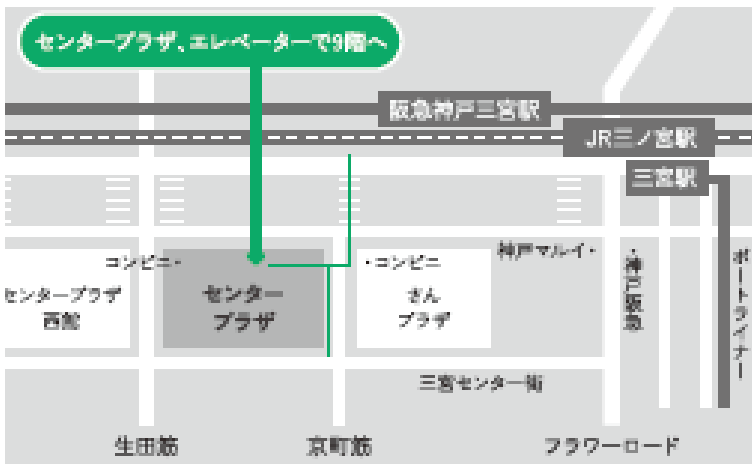
③産官学連携交流拠点

[概要]

組織名称	KOBE Co CREATION CENTER 
所在地	兵庫県神戸市中央区三宮町1丁目9番1号 センタープラザ9階の一部
床面積	437.4 m ² (9階部分)
施設概要	ROOM A・B、MEETING 1・2、交流・コワーキングスペース
開館時間	平日 10:00~21:00 (月曜日を除く) 土日祝 10:00~18:00 ※月曜日が祝日・休日の場合は土日祝開館時間 (10:00~18:00)
休館日	毎週月曜日/年末年始 (12月29日~1月3日)
駐車場	なし

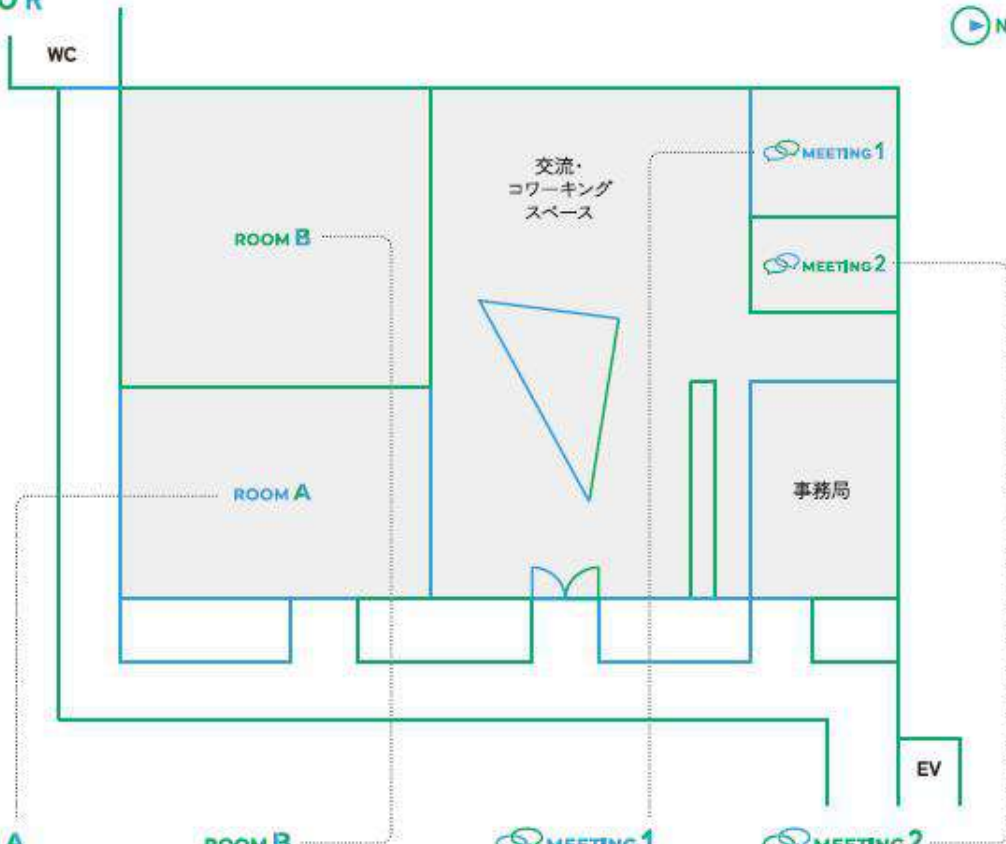
[アクセス]

JR三ノ宮駅、阪急神戸三宮駅、地下鉄三宮駅、ポートライナー三宮駅から徒歩5分



[フロア図]

FLOOR



ROOM A



- ▶ 30名程度
- ▶ スクリーン
- ▶ 小規模イベント、会議

ROOM B



- ▶ 50名程度
- ▶ スクリーン
- ▶ 中規模イベント、会議

MEETING 1



- ▶ 6名
- ▶ 50インチモニター
- ▶ 小人数会議

MEETING 2



- ▶ 6名
- ▶ ホワイトボード
- ▶ 小人数会議

▶「ROOM A & B」をつなげて利用可能(90名程度)



▶「MEETING 1 & 2」をつなげて利用可能(12名)



▶ ROOM A&Bと交流・コワーキングスペースをつなげて利用可能



④プロジェクト

神戸の将来を支える人材の獲得

神戸経済の新たな担い手となる外国人留学生の獲得

1. 神戸外国人高度専門人材育成プロジェクト

現行の在留資格「技能実習生」の見直しにより、今後は「特定技能1号」などへの移行が予想される中、「特定技能1号」12分野のなかでも介護分野における優秀な外国人留学生の受入れと定着を促進させるべく、令和3(2021)年度の「大学発アーバンイノベーション神戸助成事業」で採択された。この実績を踏まえ、さらに取り組みを進化させるべく、プロジェクトを本格実施していくこととあわせて、特定技能で対象が拡大した観光分野などの他業種においても当該モデルの横展開を検討していく。

市内社会福祉法人へ外国人材（特定技能1号）を輩出。

2024年度目標 40名

(4月入学 15名、10月入学 25名 計 40名)

- ・神戸国際大学
 - 協定開拓、入国申請、日本語教育、プロジェクト管理、学生管理
- ・神戸松陰女子学院大学
 - 日本語教育、日本文化研修、日本語教師派遣・養成
- ・関西国際大学
 - 協定開拓サポート、日本文化研修
- ・社会福祉法人 報恩会
 - 介護系試験対策、PF 賛助会員勧誘、受入れ施設とのマッチング、在留資格「介護」取得後の家族呼び寄せ諸手続き相談、地域交流行事の企画立案、外国人介護ワーカーのためのコミュニティ（職場での孤立防止）、その他、生活相談、流出防止、市内定着促進
- ・神戸市
 - 海外機関来訪対応、海外開拓サポート
- ・JICA 関西
 - 海外開拓サポート、日本語教育（渡日前）、海外機関来訪対応

[KPI]

(1) 特定技能1号による市内社会福祉法人への輩出者数（就労者数）

【2024年度】約 40人 【2025年度】約 70人

【2026年度】約 90人 【2027年度】約 100人

(2) 海外協定機関数

【2024 年度】 3 か国 4 機関 【2025 年度】 4 か国 6 機関
【2026 年度】 5 か国 8 機関 【2027 年度】 6 か国 10 機関

(3) 受入れ施設数（企業会員数）

【2024 年度】 20～30 施設 【2025 年度】 約 50 施設
【2026 年度】 約 70 施設 【2027 年度】 約 80 施設

[プロジェクトチーム]

神戸国際大学（リーダー）、神戸松蔭女子学院大学、関西国際大学、JICA 関西、社会福祉法人 報恩会、神戸市（企画調整局、福祉局、国際部）

2. 県内・市内就職・定着を目指した留学生向け中長期インターンシッププロジェクト

留学生向けの採用直結型中長期インターンシップ及び県内・市内企業就職支援プログラムを充実させ、留学生の大学卒業後の県内・市内定着、さらには「兵庫・神戸では就業経験を得られ、就職もできる」というレピュテーションの創出につなげることで、優秀な外国人留学生を獲得することを目指す。将来的に、文部科学省が公募する「留学生就職促進プログラム」への申請も目指す。

[2024 年度の取り組み]

- ・ 中長期インターンシップ受入企業集め・プロジェクト参加大学とのすり合わせ
- ・ 中長期インターンシップ受入企業と留学生とのマッチング会の開催（2 回）
- ・ 就職日本語・マナー講座（インターンシップ内定者向け）の開催（4 回）
- ・ 受入企業への支援金制度の検討
- ・ 就職日本語・マナー講座（市内留学生全般向け）の開催（12 回）
- ・ KOBE Co CREATION CENTER での県内・市内企業合同説明会の開催（1 回）

[KPI]

【2024 年度】

- ・ 中長期インターンシップ受入企業 10 社
- ・ 中長期インターンシップ参加留学生 10 名
- ・ 中長期インターンシップ参加者のうち市内企業就職者 3 名
- ・ 県内・市内企業合同説明会参加者数 60 名

[プロジェクトチーム]

甲南大学（リーダー）、神戸大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸常盤大学、関西国際大学、損保ジャパン

3. 多文化共生日本語教育都市 KOBE 形成プロジェクト

国際都市 KOBE において、現在各機関で個別に展開されている、「日本語教育」を有機的に結び付けることにより、「多文化共生日本語教育都市 KOBE（質の高い日本語教育を受けられる都市）」としてのレピュテーション形成及び優秀な外国人留学生獲得を目指す。具体的には、市内日本語学校と参加大学との連携を強め、日本語学校在籍中から市内大学への進学を促す取組みをまとめて行うことで、留学生の市内定着につなげることを目指す。

また、日本語学校と参加大学との連携を通じて、質の高い日本語教育を受けられる都市としてのレピュテーション形成を目指す。2024 年から日本語教員が国家資格化されることも踏まえ、参加大学の日本語教員養成課程と日本語学校、KICC 等との連携により、市内の日本語教員養成課程の内容・出口保証の充実と日本語教育の質向上を実現し、それらを KOBE 日本語教育マップとして可視化・発信する。多文化共生、国際都市 KOBE として、市内在住外国人の日本語教育への貢献も図る。

[2024 年度の取り組み内容]

- ・市内日本語学校向け合同市内大学進学説明会
- ・KOBE Co CREATION CENTER での市内在住外国人向け日本語補講（プロジェクト参加大学の日本語教員養成課程在籍学生による取組みを想定）
- ・市内日本語学校での日本語教員体験（1day 就業体験）
- ・日本語教員の求人情報をやりとりするためのグループアドレスまたは共有スペースの作成
- ・市内日本語学校・市内大学での連携協定締結可能性の検討

[KPI]

【2024 年度】

- ・合同市内大学進学説明会参加者数 60 名
- ・日本語教員体験制度参加学生 3 名
- ・日本語補講参加外国人数 100 名

[プロジェクトチーム]

甲南大学（リーダー）、神戸大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸常盤大学、神戸国際大学、損保ジャパン

神戸の未来を牽引する人材の育成・定着

企業の人材不足解消に対応した採用「入口」の拡大 ～インターンシップ等の積極的な活用～

4. 大学カリキュラムとインターンシップ・就職活動との接続

専属コーディネーター支援のもと、企業と共にプログラムを策定し、参画大学の単位認定制度および採用選考と連動させた「採用直結型（単位認定型）インターンシップ」、受入企業から賃金の支払いを受けながら働き、与えられた課題に取り組む「ペイド型（報酬型）就業体験」の2種類のインターンシップを実施する。

[KPI]

初年度は参画企業の負担はなしで実施するが、持続可能な取り組みとしていくため、段階的に収益化を図る。

※プロジェクト参画企業要件：会員限定（企業会員・特別会員・団体会員）

【2024年度】

- ・参画企業 10 社、参加学生 20 名(各プログラム合計)

【2025年度】

- ・参画企業 10 社、参加学生 20 名(各プログラム合計)
- ・前年度インターン参加学生のうち、インターン先に就職する学生が 15%以上
- ・参画企業には以下の費用を負担いただく。
 - ・学生募集時（広報）：10 千円
 - ・プログラム実施時（コーディネート）：10 千円/月

【2026年度】

- ・参画企業 10 社、参加学生 20 名(各プログラム合計)
- ・前年度インターン参加学生のうち、インターン先に就職する学生が 15%以上
- ・参画企業には以下の費用を負担いただく。
 - ・学生募集時（広報）：30 千円
 - ・プログラム実施時（コーディネート）：30 千円/月

[プロジェクトチーム]

神戸市（リーダー）、神戸大学、神戸学院大学、関西国際大学、神戸国際大学

5. 地域と若手人材の接続：若手人材に対する地域キャリアの創出

地域における大学や企業が、その特徴を展示、紹介する Platform をメタバース空間に構築し、定時的・常設的な若手人材と域内企業のマッチング機会や専門人材・研究シーズと地域企業等の協働によ

る地域課題へのアプローチ機会の創出。これらによる若手人材と域内企業等とのリアルな交流・マッチング機会への連携を図る。

定時的・常設的なメタバース空間による域内企業、大学の展示・紹介（試行実施）による若手人材への地域企業・地域課題に対する理解の端緒を提供し、人的資源の育成に関心が強い域内の大学・企業の連携、地域キャリア形成に資することを目的とする。

【中長期的に展開が考えられる取組】（試行等含む）

- ・ 専門人材、学生等の協働による地域課題等に対する課題解決型（PBL）Project の創出
- ・ チャットボット等を活用した展示等
- ・ オープンキャンパス・オープンカンパニーの拠点提供（広報基盤）
- ・ 地域情報と地域企業の両側面からの域内・域外若手人材に対する地域キャリア形成拠点へ
- ・ 大学と域内企業等と結ぶ連携コーディネーター人材の育成
- ・ 大学が提供する地域連携講座等、各種イベントにおけるオンライン・ハイブリッド基盤の提供
- ・ 市内居住環境の紹介

[2024 年度の取り組み]

（PF 予算を使った主な取り組み）

- ① 4 月～：メタバース環境の構築
- ② 5 月～翌 2 月：神戸市や兵庫県内企業を中心としたメタバースによる合同企業研究会を開催（域内企業中心に 20 社程度による開催を予定：5 回程度）
- ③ 5～7 月：PBL として市内企業と連携した学生企画の採用関係イベントを実施
- ④ 5～10 月：域内企業・大学等に対する地域キャリア形成基盤の説明会・情報交換会の実施（リカレント事業、インターンシップ事業などと連携して試行）、メンバーシップ企業の募集
- ⑤ 5～10 月：学生へのヒアリング

（その他関連事業：R6 県立大学単独事業）

→PF 事業と連携して実施

（メンバー大学の了解が得られれば R6 共同実施試行→R7 以降共同して本格実施）

- ① 8, 9 月：連携協定に基づき県立大学国際商経学部と近畿税理士会神戸支部による税理士・会計事務所を対象とした会計・税務・コンサルティングインターンシップを試行実施。
- ② 7 月～：域内企業を中心とした協定型インターンシップの実施（地域 ICT 推進協議会、中小企業家同友会等と連携して）
- ③ 7～翌 2 月：域内企業見学（バスツアー、低学年時から）
- ④ 10 月～：神戸市内企業、ICT 企業と連携した必修科目 Project ゼミを開講（広報、採用関係に関する課題研究など）
- ⑤ 10 月～：マネジメントゲームを活用した人的資源育成へ、学部ゼミと連携・域内企業との共同実

施

- ⑥ 10月～：キャリアセンター主催のWLB企業、ICT企業などによる座談会（卒業生、企業経験者等による少人数座談会を開催）
- ⑦ 随時～：県立大学神戸商科キャンパスキャリアセンターでは2023年より自身のキャリアを主体的に考えるべく学内にキャリアサークルを設置・支援していることから、インカレサークルとして、PF参加大学への更なる拡大を検討する。

[KPI]

【2024年度】

- ・Output：メタバース等基盤を活用した学生と地域企業のコネクト形成試行イベントの実施（5回）、参加ユーザー（500人）
- ・Outcome：各大学のキャリア講義等への接続数（10件）、メンバーシップ企業数（250社）

[プロジェクトチーム]

兵庫県立大学（リーダー）、神戸学院大学、甲南大学

「知識」の獲得を目指す企業への大学リソースの提供 ～リカレント教育、リ・スキリング～

6. リカレント（リ・スキリング）プロジェクト

神戸市において、文部科学省の「地域ニーズに応える産学官連携を通じたりカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に採択を受け、「大学都市神戸 産官学プラットフォーム」設立前の先行事業として、プロジェクトチームを2023年6月に先行的に設置。

プロジェクトチームでの議論を受け、令和5年度は①リカレント教育に関する人材ニーズの調査、把握、②大学・専修学校の教育コンテンツの集約、③人材ニーズとコンテンツのマッチング、④リカレント教育プログラムの広報・周知の取組みを実施。

令和6年度は、フェーズ1として令和5年度に実施した地域の人材育成ニーズと教育資源のマッチングを継続し、神戸市の強みや課題を踏まえたプログラム開発（オーダーメイド型）を推進。さらにフェーズ2として企業側の評価や環境整備等を含む、総合的リカレント教育推進体制の整備をおこない、①教育プログラムの適切な評価方法・体制の整備、②企業側における環境整備の促進、③経営者層をターゲットにしたリカレント教育プログラム開発、④地域におけるリカレント教育推進に向けた取組の普及啓発を実施。

[目指す姿]

- ・大学都市神戸産官学プラットフォームの仕組みを基盤とし、プログラムの充実、事業化（有償化）、将来的には神戸市外への波及【横展開】により重層的な事業の展開・拡大を目指す。

[KPI]

【2024 年度】

- ・リカレント教育受講の有用性等に関する評価方法・手法の策定 初版の発行/年度内
- ・企業側の環境整備に関する指針(リカレント教育推進ビジョン(仮称))の策定 初版の発行/年度内
- ・リカレント教育の普及啓発に向けたシンポジウムの開催 1回/年度内
- ・経営者向けも含む企業ニーズを踏まえたリカレント教育プログラム開発 プログラム開発数5件/年度内 (うち有償プログラム3件)

※有償プログラムのKPI:

持続的な事業展開を目指し、オーダーメイド型プログラム開発による開発費や事業参加者からの参加料徴収等で年間60万円程度を想定

[プロジェクトチーム]

神戸市(リーダー)、神戸大学、神戸学院大学、甲南大学、兵庫県立大学、神戸市外国語大学、関西国際大学、神戸市看護大学、神戸商工会議所、兵庫県中小企業家同友会、株式会社 神戸新聞社、西日本電信電話 株式会社、三井住友信託銀行 株式会社、株式会社 みなと銀行、兵庫県

企業連携による実践体験型学習

7. 灘の酒プロジェクト

産(灘の酒造メーカー)官(神戸市)学(PF 参画大学)が連携して、神戸らしさを醸し出す「灘の酒」を磨き世界に発信することで、参画企業・参加大学・神戸をPRしブランドを醸成する。神戸が世界に誇るコンテンツ「灘の酒」を神戸市ブランドとして神戸市をあげた協力・支援体制のもと持続的な発展ができるように育成することを目指すとともに、酒造メーカーをはじめ、さまざまな企業のプラットフォームへの新規参画も図る。

[2024 年度の取り組み、および 2025 年度以降の企画・提案]

< 自主企画 >

- ・日本酒文化講座第4回以降、賛同いただける酒造会社の講座を継続し開催する。
- ・参画大学と灘の酒をモチーフにテーマを検討し企画提案を募集する。
- ・参画大学(ゼミ)毎にチームを組みコンペの実施。R6年12月に表彰。
- ・採用企画は神戸市、プラットフォームで採用し実行(予定)

< 経済観光局・ファッション産業課、東灘区役所・灘の酒事業との連携 >

- ・2024 年度 実施計画事業・・・企画、運営の連携
- ・2025 年度の事業の企画提案

[KPI]

【2024 年度】

- ・ 参画大学からの企画・提案応募数 10 件
- ・ 採択企画提案数 3 件

[プロジェクトチーム]

甲南大学（リーダー）、神戸大学、神戸学院大学、関西国際大学

8. 大学・学生と企業スポーツの連携プロジェクト

神戸をホームタウンとし地域貢献活動を積極的に展開する企業スポーツチームに学生のフレッシュな感性や発想力を活かし、集客やファン拡大（プロモーション）などの戦略プランを立案・実行することで、学生の実践的な学びを促進。

地元のプロスポーツ振興と地域活性化の好循環の創出とともに、学生が企業や地域と協働し、現実の社会やビジネスの課題を解決する中で、答えのない課題を発見・解決する思考力、チームワークや行動力を養う。

企業スポーツ連携の第 1 弾としてコベルコ神戸スティーラーズ(ラグビー)との連携を模索し、学生ならではのアイデアや柔軟な発想を生かした提案を生かしながら、例えば、集客拡大に向けた広報発信や、小中学校向けのラグビー競技の普及活動など、企業のニーズに沿った学生参画プロジェクトを展開する。

[KPI]

【2024 年度】

- ・ 参画学生数 10 名以上
- ・ 参画企業に対して学生からの施策提案 1 件以上

【2025 年度】

- ・ 参画学生数 10 名以上
- ・ 参画企業に対して学生からの施策実施 1 件以上

【2026 年度】

- ・ 参画学生数 20 名以上
- ・ 参画企業に対して学生からの施策実施 2 件以上

[プロジェクトチーム]

神戸市（リーダー）、神戸学院大学、神戸国際大学

9. 大学都市神戸産官学プラットフォーム・リレー講座

プラットフォームに参画する企業等のトップから、様々な観点（グローバル化、地域経済の活性化、SDGs等）で各組織の取り組みを参画大学の学生へオムニバス方式で講義いただく。この講義を通じて、神戸市域の企業への学生の理解を深め、地元企業への就職につなげる。

プラットフォームに参画する大学OB、企業会員等の神戸に縁のある会社トップ層から講師をお招きし、様々な観点（グローバル化、地域経済の活性化、SDGs等）で各組織の取り組みを参画大学の学生へオムニバス方式で講義いただく。この講義を通じて、神戸市域の企業への学生の理解を深め、地元企業への就職につなげる。

プラットフォームにおいて参画機関と講義内容の協議、講師の派遣依頼・日程調整・旅費謝金の支払い、学生の受講確認を行い、参画大学は学生の受講を募る。可能であれば、学生の単位として認定を行う。

[KPI]

【2024年度】

・開講数 0 参加学生数 0人※

【2025年度】

・開講数 1 参加学生数 90人 講義数 15回

【2026年度】

・開講数 1 参加学生数 90人 講義数 15回

※2024年度はプログラムの企画策定、講師派遣の調整と共に、プロジェクト参画大学を中心に学生への単位付与の可否を調整し、2025年度から実際のリレー講座を開始することとしたため。

[プロジェクトチーム]

神戸大学（リーダー）、神戸学院大学、甲南大学

10. 高齢社会を支える医療・介護事業の経営持続性と発展性を担う人材の育成

産官学領域から講師陣を得て、医療・介護保険事業者を対象とした人材育成プログラムを実施するものである。

①講義・演習（40コマ）を履修証明プログラムとして実施（対面・オンライン併用）

②講師を交えた受講者交流会の実施。

概要：「少子・高齢・縮小社会」「制度・行政施策」「組織経営」「組織マネジメント」「人材マネジメント」「専門職マネジメント」「倫理」「ケアサービスにかかるリテラシー」その他。

対象：医療・介護保険事業経営者、管理者、幹部職員 20名程度

開講時期：10月～2月（前期は準備期間とする）

[KPI]

【2024 年度】

- ・プログラム受講者数 20 名以上
- ・受講者満足度 80%以上
- ・修了証取得率 80%以上

※2024 年度の修了認定基準は、オンデマンドを含めた出席回数（全回出席）とする。

2025 年度以降の修了認定基準は、初年度の結果を踏まえ再検討する。

※2025 年度以降は、収益目標の設定についても検討する。

[プロジェクトチーム]

神戸学院大学（リーダー）、神戸大学、兵庫県立大学、神戸市看護大学

神戸経済への直接的な貢献

多彩な SDGs チャレンジの地域における展開と発信

11. 大学都市 KOBE SDGs Challenge Project

プラットフォーム参画機関が中核となり、「暮らしたい、学びたい、働きたい ウェルビーイング都市 K O B E」(SDGs の観点から自治体・企業・大学・市民がつながり、住民が多様なライフコースの中で、互いの持つ価値観を尊重しつつ、存分に学び、働き、挑戦し、安心・安全に子育て、家族や大切な人と過ごすことのできる SDGs を実現する街)の共創を推進するため、プラットフォーム参画機関が実施する多彩な SDGs チャレンジの地域における展開と発信を促進する。

- ① 参画機関の社会課題に対する SDGs チャレンジに関する総合ウェブサイトの開発
- ② 社会課題に対する SDGs チャレンジを支援するクラウドファンディングの導入
- ③ 産官学連携による SDGs チャレンジ創出を促進するマッチング機能・機会の充実
- ④ 市民参加型の SDGs チャレンジ体験イベントの開催

[KPI]

【2024 年度】

- ・SDGs チャレンジ掲載数 30 アクション
- ・クラウドファンディング実施件数 10 件
- ・本プロジェクトを契機とした新たな SDGs チャレンジの創出 1 件
- ・プロジェクト参加学生数 100 名
- ・プロジェクト参加機関 20(社/団体/校)

[プロジェクトチーム]

甲南大学（リーダー）、神戸学院大学、神戸大学

12. 大学エコシステムによる SDGs 事業共創イニシアティブ

2022 年度に設立した「大学エコシステム・ひょうご SDGs オープンイノベーション (HSOI)」において、より広範囲の大学、企業とのネットワーキングとアウトリーチ活動を行い、産官学連携を推進し、SDGs を通じた事業共創のイニシアティブをとっていくことを目指す。

[KPI]

【2024 年度】

- ・ HSOI 主催・共催事業の実施 7 件

【2025 年度】

- ・ HSOI 主催・共催事業の実施 8 件

【2026 年度】

- ・ HSOI 主催・共催事業の実施 9 件

[プロジェクトチーム]

神戸大学（リーダー）、甲南大学、神戸学院大学、兵庫県立大学

13. 企業、行政、大学、住民が共につくる地域防災

南海トラフ巨大地震などの未曾有の災害に備え、企業、大学、地域団体、住民を巻き込んだ広域的かつ多層的な地域防災の体制を構築する。令和 6 年度の取組は 3 つの柱に基づく。①PF 参加組織への地域防災アンケート調査。②防災力向上セミナーとワークショップの実施。③地域防災・避難訓練の視察と課題共有。これにより、産官学・地域が連携した防災・減災力を向上させ、次年度以降に向けて成果をまとめる。

[KPI]

【2024 年度】

- ・ 参加企業 新規 2 社
- ・ 参加大学 5 大学
(神戸大学、神戸学院大学、兵庫県立大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学)
- ・ 学生 全体 40 名
- ・ 地域団体・住民団体等の数 3 団体
- ・ 避難訓練などの活動回数 3 回

【2025 年度】

- ・参加の企業 新規 2 社
- ・参加大学 新規 1 大学
- ・学生 全体 50 名
- ・地域団体・住民団体等の数 新規 1 団体
- ・避難訓練などの活動回数 新規 1 回

【2026 年度】

- ・参加の企業 新規 2 社
- ・参加大学 新規 1 大学
- ・学生 全体 60 名
- ・地域団体・住民団体等の数 新規 1 団体
- ・避難訓練などの活動回数 新規 1 回

[プロジェクトチーム]

神戸大学（リーダー）、神戸学院大学、兵庫県立大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学

神戸エリアの未来創生に向けた大学経営に関する懇談会及び参画大学職員を対象にした研修（SD）

14. 神戸エリアの未来創生に向けた大学経営に関する懇談会及び参画大学職員を対象にした研修(SD)

独自性と多様性を持った教育、研究を展開する各大学が地域社会にその成果を還元し、貢献すべきとの共通認識のもと、参画大学法人の経営層による、時代変化と地域社会のニーズを踏まえた大学経営の展望に関する研究・検討を行う意見交換の場としての懇談会の実施

- ・毎回テーマを設定、ゲストスピーカーを招き、年に 2～3 回程度開催

また、神戸エリアの未来創生に向けた大学リソースの強化を目的とした SD 研究会等を拡充し、参画大学の中堅・幹部職員を中心に、これからの大学経営に係る課題解決創出イノベーション人材育成研修プログラムを事業構想大学院大学と市との共創で策定・提供。具体的には、大学で勤務する中堅職員を対象に、事業構想大学院大学が企画実施する実践型講義を提供。高等教育を取り巻く動向、大学広報とブランディング、大学のファンドレイジング、産官学連携、研究支援の基礎リテラシーなど、大学づくりに必要な知識とスキル習得を網羅できる内容を検討中（2024 年 6 月頃～7 月頃から約半年間の集中プログラムとして実施予定、定員 10 名前後）

[KPI]

【2024 年度】

- ・研修前と比較して「モチベーションが向上した」と回答した受講者の割合が 80%以上
- ・研修で学んだことを活かして、大学経営に貢献したいという意欲：5 段階評価で 4 以上の受講者割合が 70%以上

【2025 年度】

- ・研修で学んだ知識・スキルを業務に活かしている受講生の割合が 50%以上

[プロジェクトチーム]

神戸市（リーダー）、神戸学院大学、甲南大学、神戸常盤大学

地域経済の次代のイノベーションの核となる大学発ベンチャーの育成・アントレプレナー教育

15. 大学発イノベーションファンド神戸

有望な大学の研究シーズに P O C（仮説検証）を行う資金を提供する G A P ファンドを運営する。神戸大学と子会社の神戸大学イノベーションのノウハウを活用して、金融機関やベンチャーキャピタルと連携して、企業にメリットのある枠組みを構築することで、神戸全域で大学発スタートアップのシーズを育成する。

[KPI]

【2024 年度】

・事業化シーズ発掘 40 件

【2025 年度】

・事業化シーズ発掘 45 件

【2026 年度】

・事業化シーズ発掘 50 件

【参考】本プロジェクトでは、神戸全域でのスタートアップ創出を目標としている。具体的なスタートアップ候補（シーズ）に対する実証研究費は、企業版ふるさと納税やベンチャーキャピタルなどからファンド資金を獲得することを想定しているが、これら資金提供元に対して、シーズを具体的に提示する必要がある。

神戸大学では 2023 年度に約 30 件のシーズ発掘と文科省予算による研究費支援を行った実績があり、この実績を活用して、P F 参画大学からも広くシーズを募り、ファンド資金の獲得と、それによる事業化支援のエコシステムを形成することを目標とする。

[プロジェクトチーム]

神戸大学（リーダー）、神戸学院大学、兵庫県立大学、(株) 学生情報センター

産官学連携による外国人向け DX アプリサービスの開発

16. 産官学連携による外国人向け DX アプリサービスの開発

インバウンド向けアプリダウンロード数日本 No.1 の PAYKE 社と当該プラットフォームの参画団体の力を集結し、在留外国人にとって面倒・困難なサービスを、1 つのアプリで簡単に利用できる多言語対応の総合生活アプリ開発を目指す。

また、留学生目線での神戸の魅力を織り込んだインバウンド向け観光アプリの開発も目指す。

1. Payke 社のサービス、ビジョンなどの情報を共有する説明会の実施。

2. チーム募集・組成

① インバウンド サービス開発チーム（メンバー）留学生、日本人学生、神戸市、企業から計 4~5 名 /チーム×3 チーム

② 在留外国人向けサービス開発チーム（メンバー）留学生、日本人学生、神戸市、企業から計 4~5 名 /チーム×3 チーム 各チームで開発テーマを決定(例:「金融・不動産サービス」「在留外国人向け行政サービス」など)

最終回に参加者全員向けに発表会を実施。(案が採択されたチームに報奨金支給を)3. 各チームの施策案を双日に取り纏めて Payke 社へ共有し、①、②のプロトタイプアプリ開発を依頼

[KPI]

【2024 年度】

- ・ 参画企業・大学・学生の数 6 チーム×5 名 = 30 名
- ・ アイデア案の評価点数 85 点（アイデア案の質は目標の一つにすべきで、評価点数はそれを明確に図ることができる。最終発表会で実現可能性・収益性などの項目に分けて点数をつけて頂く予定）
- ・ 参加者満足度 3.5（事後アンケートの展開など、5 段階評価）

[プロジェクトチーム]

双日株式会社（リーダー）

大学・企業・行政の交流促進

17. 大学・企業・行政の交流促進

プラットフォームの本来目的である、産官学共創による地域課題解決のためには、会員間のマッチングが必要であり、産官学の会員から構成されるプラットフォームの強みを活かした連携を促進するための環境構築は、本プラットフォームが先進性かつ独自性を打ち出すには必要な標準機能である。

本プロジェクトでは、オンラインツールを活用した会員間による“気軽な”交流ならびに、プラットフォーム事務局でのサポートによる具体的な事業化に向けた“密な”伴走支援を実現する産官学交流プラットフォームをデジタルにおいて構築する。

2023 年度から LINE WORKS を試験的に導入しており、運用状況や参画団体の意見を踏まえ、今後の運用の仕方やシステムの在り方を検討する。

なお、事務局でのマッチング支援としては、2023 年度から実施している連携コーディネーターによる個別相談を継続実施。

[KPI]

【2024 年度】

コーディネート件数 10 件

④産官学連携に向けた組織・インフラ整備

○ポータルサイト（ホームページ）

プラットフォームの取り組みを対外的に発信するためのツールとして、ポータルサイト（ホームページ）を開発し、令和6年度中のリリースを目指す。

また、企業と大学の連携促進や、受託研究・共同研究促進に向け、企業が大学研究者を一元的に検索できるサービスの整備や、神戸市内の各大学（PF 参画）が主催している市民参加型イベント情報を一元的に発信し、市民への認知度及び広報力強化を図る。

○OBE KOBE 学生ナビ（KOBE 学生コミュニティネットワーク）

サイトでは学生の役に立つ市内企業などの就活関連イベントやボランティア情報の配信のほか、市内の施設等で使えるクーポンの配布などを行っており、

今後、更なる登録者獲得のため、年内に神戸大学・甲南大学において登録キャンペーンの実施を予定している。

なお、様々な登録キャンペーンを通じて、BEKOBE 学生ナビに対する学生の生の声を集約する中で学生からの要望があったもののうち、下記2点については既に改善を行ったところ。

2024年度は学生からの要望が特に高かった掲示板機能を追加し、現在は出来ていない学生同士の意見交換をより活発にするとともに、企業や行政等にとっては、対面の場を設けずとも学生のリアルな意見を直接気軽に聞ける場となるよう、改修を行う。

さらに、プラットフォームに加盟する大学や企業が中心となって、サイトの充実や、市内企業などのインターンや就活関連イベント、プラットフォームで実施するプロジェクトの情報発信などにも積極的に活用していく。（年度末の目標数値）

（参考）現在の搭載機能

プロジェクトマッチング機能	KOBE 学生地域貢献スクラムなどの地域貢献ボランティアや企業インターンシップなどの検索・応募
ポイント機能	神戸地域でのポイント使用で域内消費を促進
クーポン機能	公共施設や飲食店等の割引
マイページ機能	地域貢献活動参加実績の確認
アンケート機能	学生への意見聴取により、行政・企業等における各種学生施策の立案への活用
情報配信機能	学生の属性や活動履歴を活用したイベントや行政のお知らせ、大学等卒業後の接点づくりなど

○OKOBE STUDY ABROAD（留学生サイト）

現在、市内の留学生人口は着実に増加してきているところであり、今後、優秀な外国人材を獲得し、

市内定着を図るためにも神戸への留学の機運をさらに高める必要があるため、プラットフォームに加盟する大学や企業が中心となって、サイト内の大学・企業情報の充実や、プラットフォームで実施するプロジェクトの情報発信など、積極的に活用していく。

(参考)「KOBE STUDY ABROAD」情報発信内容

・ウェブサイト内に「About Kobe (神戸留学の魅力とは)」「Schools & Study (市内学校基本情報)」「Careers (就職情報)」「Kobe Notebook (テーマ別記事)」等のコンテンツを設け、下記情報を掲載している。

- ・市内高等教育機関の教育プログラム、留学案内 (奨学金制度や寮などの受入体制)
- ・国際都市神戸の魅力発信 (観光や住環境の情報 など)
- ・外国人学生向け生活支援情報 (くらしの手続き、相談窓口、災害時の対応)
- ・インターンシップや就職関連情報 (外国人留学生向け、経済政策課)
- ・実際に神戸に留学し神戸で就職された OB・OG の方や現役留学生のインタビュー
- ・「Kobe Notebook (テーマ別記事)」投稿内容: 留学生の住まいについて (3部作 学生寮・ホームステイ・一人暮らし)、友人の家に遊びに行くときのマナー講座、日本留学部屋探し など
- ・Facebook、Instagram 等の SNS において「KOBE STUDY ABROAD」のアカウントを開設し、毎月の市内・大学イベント情報や梅雨や七夕など日本ならではの季節イベントの説明、神戸の街並み動画やウェブサイトの投稿内容の拡散を行っている。

⑥収支予算

令和6年度 予算(案)

(単位:千円)

区分	当年度予算	備考
収入		
会費収入(神戸市)	37,500	
会費収入(大学)	32,740	
会費収入(企業等)	2,900	
事業収入	106,496	
雑収入	0	
戻入金		
当期収入計	179,636	(a)
前期繰越金	0	(b)
計	179,636	

支出	分担金			経費	
	分担金	外部資金	経費		
プロジェクト					
神戸外国人高度専門人材育成プロジェクト	2,550	83,000	85,550		
灘の酒プロジェクト	1,000	546	1,546		
リカレント(リ・スキリング)プロジェクト	0	12,000	12,000		
大学カリキュラムとインターンシップ・就職活動との接続	5,000	0	5,000		
大学・企業・行政の交流促進プロジェクト	500	0	500		
大学都市KOBESDGs Challenge Project	2,000	0	2,000		
大学エコシステムによるSDGs事業共創イニシアティブ	2,000	0	2,000		
留学生向け中小企業就職支援・中長期インターンシッププロジェクト	2,000	0	2,000		
多文化共生日本語教育都市KOBESDGs形成プロジェクト	450	0	450		
大学・学生と企業スポーツの連携プロジェクト	250	0	250		
大学都市神戸産官学プラットフォーム・リレー講座	1,000	0	1,000		
地域と若手人材の接続:若手人材に対する地域キャリアの創出	2,000	0	2,000		
大学発イノベーションファンド神戸	2,000	10,000	12,000		
企業、行政、大学、住民が共につくる地域防災	500	200	700		
神戸エリアの未来創生に向けた大学経営に関する研究会(SD)	0	0	0		
高齢社会を支える医療・介護事業の経営持続性と発展性を担う人材の育成	3,000	750	3,750		
産官学連携による外国人向けDXアプリサービスの開発	500	0	500		
プロジェクト雑費(共通)	250	0	250		
事業予算計	25,000	106,496	131,496		
事務局運営費	15,854	0	15,854		
KOBESDGs Co CREATION CENTER管理運用費	32,192	0	32,192		
管理・共通運営費等計	48,046	0	48,046		
当期支出計	73,046		179,542	(c)	
当期収支差額	94		94	(a) - (c)	
次期繰越金	94		94	(a) + (b) - (c)	
計	73,140		179,636		